

2013 年 5 月 22 日(水曜日)

天候 曇り時々晴れ
風 東北東 2~3m
波 1m
目的地 宮之浦港
距離 26.6NM



サラバ硫黄島、また何時か！！

7 時 30 分 硫黄島を霧に囲まれて出航。

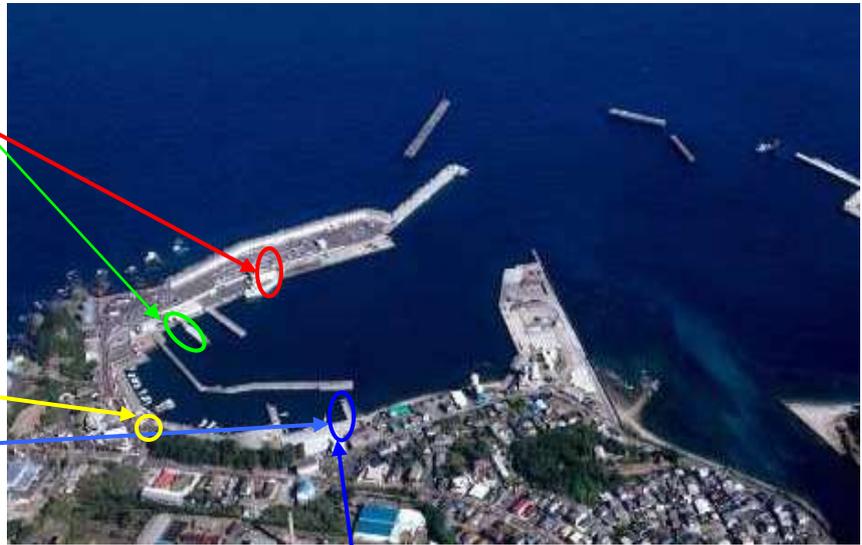
視界 2 マイル、360° 霧で真っ白です。船や漂流物の見張りに集中。オープンCPN 2.5 バージョン大活躍です。硫黄島を出航して 3 マイルにある瀬も正確に表示時通り現れました。出航前にopen cpnの精度を長間瀬でチェック、海図との誤差南方向へ 0.05 から 0.1 マイル程度であることを確認していましたが、やはり優れものです。

3 時間ほどすると屋久島の山影がうっすらと見え始め、11 時ごろ、宮之浦港もかすんでいます。



11時30分宮之浦入港、早めの入港なので情報収集のため高速艇浮き桟へ着岸。

- ・高速艇浮き桟
- ・フェリーターミナル
(観光案内所、港湾
管理事務所)
- ・漁協
- ・最終停泊場所



フェリーターミナルにある観光案内所では停泊場所が確定できず、隣の港湾管理事務所に行くともぬけの殻、困り果てていると、観光案内所の方が親切にも電話で港湾関係者に連絡、1時間30分ほど待つて最終停泊地が上の写真の処に決まりました。この場所は、出航前情報で確認していたところで、素直に直行すれば何の問題も無かったのに反省です。

着岸直後の写真です。広さも十分、外港からの波、漁船の引き波もあまり無く、甑に比べると快適です。

まずは、泊地情報、次に観光や登山のための情報収集。そしてレンタカーの調達へと。また、明日午後帰福、帰阪のための手続きにと、二手に分かれて行動開始です。



泊地情報

・屋久島環境
文化村センタ
ー

・トイレ

・スーパー

・コインランド
リー

・土産物屋

・浮き棧橋

・ガソリンス
タンド(○
から南へ2
00m)

・停泊場所



- ・ トイレ 洋式はフェリー待合所とスーパー、24時間使用可能は公園。
- ・ お風呂 土産物屋さん(観光センター)前、公園側バス停よりバスで10分田代別館が便利でした。
- ・ ゴミ処理 土産物屋さん(観光センター)に聞くと、親切にも「仕分けして持って来ればここで捨てていい!」と引き受けてくれました。ただ、焼酎御岳はスーパー価格よりすごく高いのでお菓子の土産購入でご勘弁!
- ・ レンタカー 軽では山に登れないと必要に普通車を進められました。軽に4人乗りで山道もOKでした。岸壁が広くヨットに横付けでき快適です。
- ・ 棧橋は観光船と漁船が占領し使用できませんでした。

さて、23日(木) 午前中レンタカーでの観光地めぐりを終え帰福、帰阪組の準備のためKARALOAへ。岸壁に着くと留守番組みの二人がポートフックで岸壁を突っついてます。

聞けば、岸壁真横では魚探の水深が2mをきり、危ないので岸壁に寄らないようにポートフックで沖に押ししているとのことでした。早速ロープを2時方向50メートル先のクリートに張り直し。釣竿に錘を付け水深探査、ポート側中央水深2m30、KANALOAは2m、ぎりぎりです。明日からは大潮、24日未明から宮之浦岳1泊2日登山の予定の2名は普通活動中止で大潮に対応ですが留守番がアドバイザー。誰も心配することなくアドバイザーに任せです。

24日、25日は屋久島では珍しい雲ひとつ無い晴天に恵まれ無事下山、アドバイザー一有難う！！

明日、26日から天候が崩れる予報、滞留です。水深が浅い上に大潮、さらに風は東からの強風注意報、最悪です。アドバイザー指導で2時方向へスターンからもう1本60メートルのロープ張り。岸壁への舳い2本まし。これで完璧です。最干潮は13時ごろ、この前後2時間半は岸壁から6メートルを確保しなければなりません。



26日、27日予報どおり強風に雨！！

大変です。

KANALOAから上陸するのも

KANALOAへ乗り移るのも

人力では岸壁にKANALOA

を引き寄せられません、苦肉の

策でウインチを使い何とか接岸。



28 日も悪天候、ただ風が南の風へ、天気回復の兆しか！！ 予報もまずまず。

29 日種子島へ向け出航を決定です。もう滞留は勘弁！

宮之浦港

係留	浮き桟橋	漁船と観光船が動かずヨットは無理みたい。
水	なし	
陸電	なし	
燃料		ガソリンスタンド配達あり、免税OK
トイレ	あり	洋式はスーパー、フェリー
風呂	あり	近くは田代別館 500 円バス代 130 円 距離 1km
飲料水	あり	スーパー
食料品	あり	スーパー
酒	あり	スーパー
その他		スーパー敷地にコインランドリーあり
		ゴミは土産物屋(観光センター)にお願いしてみてください



2013 年 5 月 29 日 (水曜日)

天候 雨のち曇り
風 南西 2~5
波 1~2m
目的地 西之表
距離 29.4NM

8 時 30 分に小雨模様の中、宮之浦港を出航。風も無く種子島西之表港を目指します。目的は種子島でしか売ってない安納芋焼酎“しま茜”！

馬毛島が見えてきました。風も南西 5mになり、8 ノットで快調。西之表まで 10 マイル、博多からこれまでずっと流してきたにもかかわらず沈黙を守り続けたトローリングのリール、“ジィ”と一瞬のうなり。しかし、また元の沈黙に。あわててラインを巻き上げると 20 号のラインが一発で切られていました。高鳴る胸を押さえつつルーアーを着装。もうすぐそこに西之表のところで、またリールが一瞬のうなり、合わせる間も無くライン切れ。一度ならず 2 度までも。どでかい獲物に思いをはせながら西之表港に 14 時入港。

旧港
(停泊場所)
新港
フェリー岸壁
停泊可能箇所
(周りに何も無く、自転車が
必要)



旧港、情報では作業用台船があり横付けさせてくれるとのことですがだめ。漁船がたくさん付いていました。

まずは製氷機の前に着岸

①

漁協に電話九電の給湯岸壁につけるように指示される

②

この岸壁は月に1度火力発電所燃料の給油のため使用されるそうです。

旧港の地図



泊地情報

- ・岸壁は高い
- ・トイレ 洋式
公衆トイレ 24時間OK
- ・このエリアは漁船の船溜り接岸NO
- ・スーパー
- ・酒屋
- ・風呂 サウナがあるようです。



ここまで来てサウナ風呂では面白くないと探し回ったのですが、ネットで探しても見つかりません。温泉はすごく遠く、諦め気味。岸壁から人影が、KANALOAと岸壁の間につり餌の籠を吊るしているとか。

籠を上げるためお手伝い、中身はガンガセとカニ、ムムム…。石鯛師が羨ましい。聞けば石鯛釣りの元チャンピオンとか、暫くの釣り談義の後、風呂の話をする。「ここは銭湯無いからネー」ということでした。

風呂を諦め夕食の準備、すると頭上から、先ほどの石鯛師の声が「女房がよかて言うけん風呂、入りにおいで」とのことでした。

三人とも感謝、感謝です。車で送り迎えまで戴き、さらに新港、新しくできた新港南西側のヨット停泊可能箇所まで見学に連れて行っていただきました。

ここは岸壁横付け可能、4～5艇ほど係留あり。自作の浮き棧を浮かべている人も居ます。ただ商店が近くにありません。トイレは近くの公園に有ったような？長逗留にはいいかも？です。



明日は油津まで一気に上る予定、距離 58 マイル。4 時起床。

2013年5月30日(木曜日)

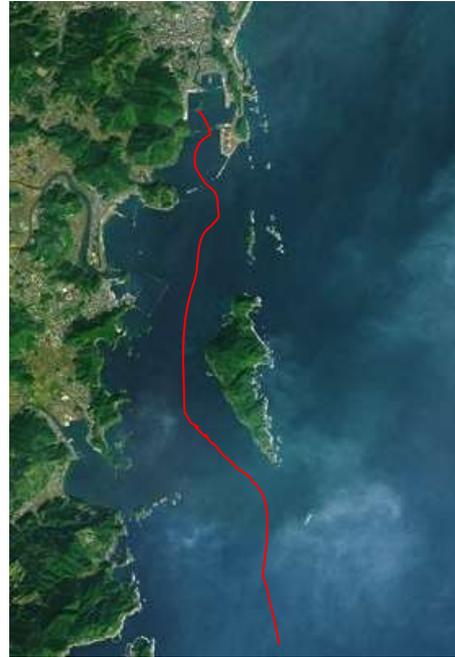
天候 晴れ
風 西南西 2m
波 1m
目的地 油津港
距離 58.5NM

4時50分西之表港出港。

種子島の北端をかわすころ潮流が
2ノットになる時間を見計らったの出港
です。順調すぎて早く油津に着くので

志布志沖から時間調整のためにトローリング開始、

今航海初めての獲物ゲット！カツオです！



14時油津入港



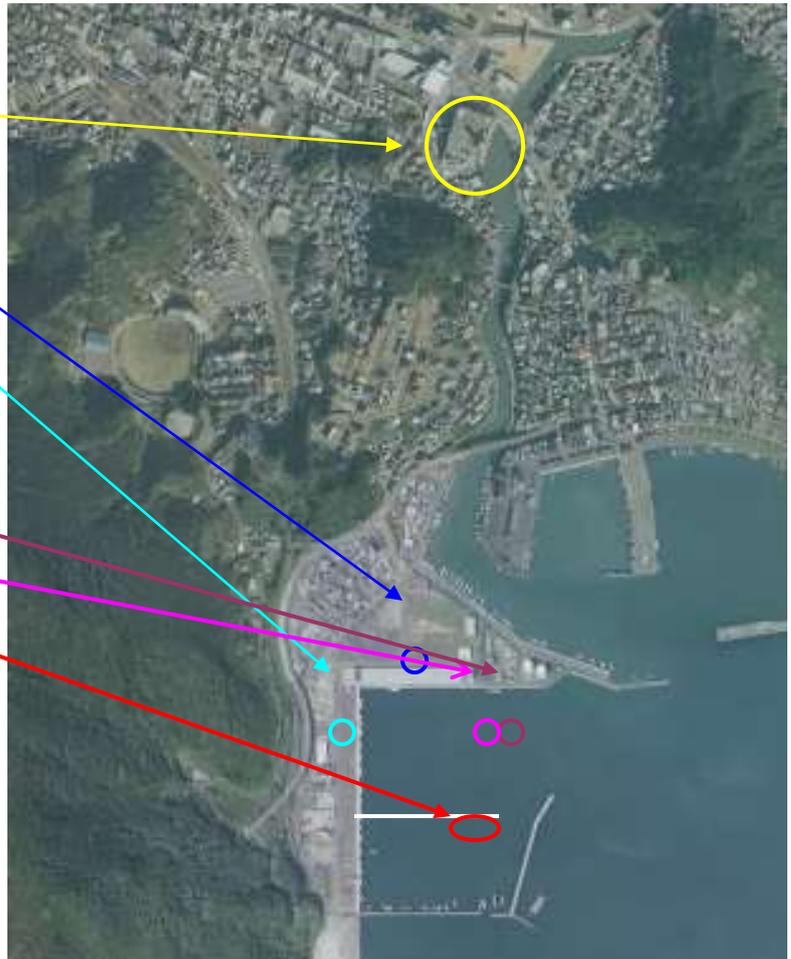
現在はここに防波堤が建造されています。水深、風除けフェンスもあり横付けOK。快適です！



泊地情報

- ・ マルショク
- ・ 公園トイレ
- ・ 漁協事務所
 - 1 階身障者トイレ洋式
 - 2 階 お風呂
 - 24 時間
 - 1 階南側外ゴミ捨て場

- ・ 給油、給水
- ・ 製氷
- ・ 停泊場所
 - 燃料も氷もスーパーも
 - お風呂もトイレも水道も近くにあり、ごみ捨てもできます。
しかし、お風呂は漁師の為の設備、何時誰が入浴にくるか分かりません。
長逗留、男には天国でもレディーには地獄、さっさと宮崎市内へ避難されました。



ナセム号のオーナーも合流、アドバイザーの弟子で油津唯一のヨットマンとの再会、楽しさが高揚(タカマリ)ます。天候の崩れなど問題外！飲むぞ！騒ぐぞ！楽しむぞ！

6月1日、ヨットマンの車でドライブ、都城温泉と地鶏フルコースを堪能、高千穂峰近くの彼の邸宅で2次会、2日夜カナロアに付くころにはへろへろです。

3日、風とうねりでマグロ漁の漁船も出ていきません。舫っている、細島や深浦の漁師さんに港湾情報の聞き取り、仕掛けの伝授などを受けました。彼らはカツオ、マグロの1本釣り、ラインは200号とか、8ノットで8キロのカツオがかかると100号のラインが簡単に切れるとか、恥ずかしくて20号のライン切れの話しなぞ言うこともできません。最後には仕掛けを作ってプレゼントしていただき感激です。

4日に漁に出るとの情報を得て、カナロアも急遽4日出航と決定。まずビール用の氷を冷蔵庫に30キロぶち込みます。水も、燃料も満タンです。

18時45分出航。90マイルの夜間航行、7時大分の蒲江に入港予定です。

当初は浮き桟橋のある元猿港、海のカルチャーセンターに停泊の予定でしたが電話連絡していたにもかかわらず、急に子供のカタマー訓練が入ったので係留できないと言い出す始末。相手にしても仕方ないので蒲江港に行き先を変更です。

油津に沈む夕日を背に受けながら、宮崎沖に向かい転進するころ、遠くに見えた漁船がフルスピードで接近、見れば親切にしてくれた漁師さん。お互い最後のお別れのホーン。祈、大漁！！

油津港

係留	浮き桟橋	なし
水	あり	漁協
陸電	あり	漁協
燃料	あり	漁協
トイレ	あり	漁協事務所 洋式
風呂	あり	24時間 無料
飲料水	あり	マルシヨク 1km
食料品	あり	マルシヨク 1km
酒	あり	マルシヨク 1km
その他		漁協目の前の水産加工商店でカツオ、ヨコワ販売あり